

ぐんま教育フェスタ開催

～長社研の研修成果を発表～

2月3日(土)当センターを会場に「ぐんま教育フェスタ」が開催され、4名の長期社会体験研修員が各研修先企業で学んだ成果を発表しました。研修員は、企業研修で学んだこと、各所属校で行った授業実践や校内研修の成果を基に作成した、キャリア教育リーフレット等について発表を行いました。研修先企業の方々、所属校の校長先生や教職員、一般の方々に発表を聞いていただきました。研修員の発表に対して、「企業と学校との違い」「研修で苦労したこと」等の質問がありました。参観者の長期社会体験研修への興味・関心を高める発表となりました。

また、「業務改善をねらいとした校内研修を研修の成果還元として行うことは非常に良い」「研修で学んだことを来年度、学校のキャリア教育推進に活かしてほしい」等、研修成果への評価、たくさんの励ましのお言葉をいただき、大変ありがとうございました。

発表の様子



中山研修員



山本研修員



宮野研修員



茂呂居研修員

キャリア教育リーフレットの作成

今年度も研修員が各企業研修で得た知識を基に、学校のキャリア教育推進をねらいとして「キャリア教育リーフレット」を作成しました。

このリーフレットは、研修員が実際に所属校で行った授業実践や校内研修等を踏まえ、児童生徒の実態を基にキャリア教育の充実を図る資料として作成しています。特別活動やLHRにおいて、働く意義、職種や内容、社会が求める人材等について、児童生徒に指導する上で活用できる資料となっています。

今後、当センターWebページに掲載をいたします。是非、ご覧ください。

平成29年度 長期社会体験研修 キャリア教育リーフレット【研修先：群馬ワルト販売株式会社】



工夫・改善で「役立つ喜び」を感じよう



平成29年度 長期社会体験研修 キャリア教育リーフレット【研修先：株式会社SUBARU】



製造業における人材育成
～人材開発係の視点から～



平成29年度 長期社会体験研修 キャリア教育リーフレット【研修先：株式会社ペイジ】

小売業から学ぶ高校生に求められる力



平成29年度 長期社会体験研修 キャリア教育リーフレット【研修先：株式会社ミツバ】

PDCAでLet's改善

～製造業の改善活動から学ぶ～



企業研修の成果を学校教育に還元

一年間の企業研修で得た知識や経験を基に、各所属において「キャリア教育の充実を図る授業」「組織の活性化をねらいとした校内研修」等、4月から各所属校において研修の成果を還元します。一年間の研修について、研修員4名の所感を掲載します。

研修員所感

中山 拓哉 研修員

学校と群馬ヤクルトでは、多くの共通点があることに気付いた。

どちらも「人」と「心」を大切にしていること。また、自分の役割をしっかりと果たし、

チームで工夫・改善することで、自分もチームも成長し、役立つ喜びを感じる。学校も企業も「誰かの役に立つ」ということが大切だと実感できた。今、小学校で取り組んでいることの全てが社会に出てからも役立つ力となっていくことを十分認識し、今年度作成したリーフレットを活用しながら、小学校段階でのキャリア教育の充実に努めたい。

この貴重な研修で得た知識と有意義な経験を、来年度以降キャリア教育の充実と学校組織の活性化に向けて生かしていきたい。そのことが、研修に携わった全ての皆様への恩返しになると考える。



企業研修の様子

山本 暁 研修員

長期社会体験研修では1年間、人事部人事課人材開発係に所属し、企業における人材育成や求める人材について、今までとは異なった視点で学ぶことができた。

特に、高校生を受け入れる側から採用業務に携われたのは有意義であった。

様々な研修に参加する中で、新入社員研修で行われたアイデアカーの製作が特に印象に残っている。この研修を基に、コミュニケーションやチームワークの大切さを生徒が体験を通して考える授業実践を所属校にて行った。ものづくりの過程を知ること、興味を持つこと、QCDS（品質、費用、納期、安全）について意識させることなど、本研修で得た知識と経験を、今後の指導の中で工夫し、生徒のために生かしていきたい。



企業研修の様子

宮野 直之 研修員

研修では、新社員と同じ研修プログラムを体験したことで、採用後にどのような教育を受け、どのような就業環境で経験を重ねていくかなど、貴重な経験をすることができた。

企業は様々な人と協力し、つながりを大切にしたコミュニケーション能力を求めていることを知った。高等学校三年間という限られた期間で、他者を理解し、自分の考えを正しく伝え、互いに協力し合える生徒を育成できるよう努力したい。

また、人材育成では「研修目的の明確化」「時間の有効活用」「指導組織の連携」なども重視しており、教員としての在り方を見つめ直すきっかけをいただいた。社会で求められる人材として生徒一人一人の力をより高めていきたい。



企業研修の様子

茂呂居 有 研修員

研修を行うにあたり最初は受け身の気持ちで与えられた仕事をこなしていた。しかし、自分らしく取り組もうと思ひ、社員とコミュニケーションを積極的に

に図り、自分にできることを考え行動していくことで、会社に貢献しているという気持ちを抱くことができるようになった。

また、企業の求める「考える力、当事者意識、会話力」といった能力の大切さを肌で実感することができ、学校生活全ての場面に生徒の能力を磨く可能性があると感じた。今後は、生徒が主体的に取り組めるように、動機付けを行っていききたい。そして、生徒が社会に出て、活躍できるようにキャリア教育の充実を図るとともに、生徒一人一人に対応した教育をしていきたい。



企業研修の様子

長期社会体験研修員の研修成果は、下記のURLで公開します。
http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=192